

想いをチカラに。

Driven by passion.

One1%club

1% [ワンパーセント] クラブ

企業の強みを活かし豊かな社会を目指す



Keidanren
Policy & Action

Message

ご挨拶

企業の強みを活かし豊かな社会の構築を

1%クラブは、1990年の発足以来、企業および企業人による社会貢献活動の普及・啓発に取り組んで参りました。企業の社会貢献活動は、四半世紀を経て、広く認識されるとともに、その活動内容も、各社の企業理念に照らして多様化しています。

こうした動きの中で、企業の社会貢献活動は、CSR（企業の社会的責任）の一要素として位置づけられ、持続的な企業経営を考える上で不可欠な要素となっています。

さらに今日では、これまでの社会貢献活動の枠組みを超えて、事業活動を通じて社会課題を解決するという、持続可能性を追求した戦略性のある取り組みも注目されています。

1%クラブは、持続可能で豊かな社会の構築に向けて、今後とも各社の強みを活かした様々な活動を大きな力に変えていくファシリテーターとして取り組んで参りたいと思いますので、皆様の引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。



1%クラブ会長
損害保険ジャパン
日本興亜会長

二宮 雅也

(2016年7月31日就任)

About 1% club

1% [ワンパーセント] クラブとは

経常利益・可処分所得の1%以上を 自主的に社会貢献に活かすこと

これが、1%クラブの活動の主旨です。1%クラブには現在、経団連会員企業を中心に、227の法人・グループならびに854の個人が所属しています（2016年8月時点）。中でも法人会員は、平均で経常利益の2～3%を社会貢献活動に活用しています。

1%クラブでは、社会に向けて、企業による社会貢献活動の意義を広めつつ、活動についての情報提供を行い、社会的価値の向上を目指すNPO等と企業をつなぐ機会を提供するなど、社会貢献活動を推進しています。とりわけ、国内外における災害発生時には、現地入りしているNPO等とも連携して被災状況や被災地のニーズを把握し、企業に対しての情報提供をはじめとして、様々な形での支援協力の呼びかけを行っています。さらに、国際的な動向も踏まえ、セミナーやシンポジウムの開催を通じて、各社の先進的な取り組み事例の紹介や最新の課題等に関する情報を提供しています。

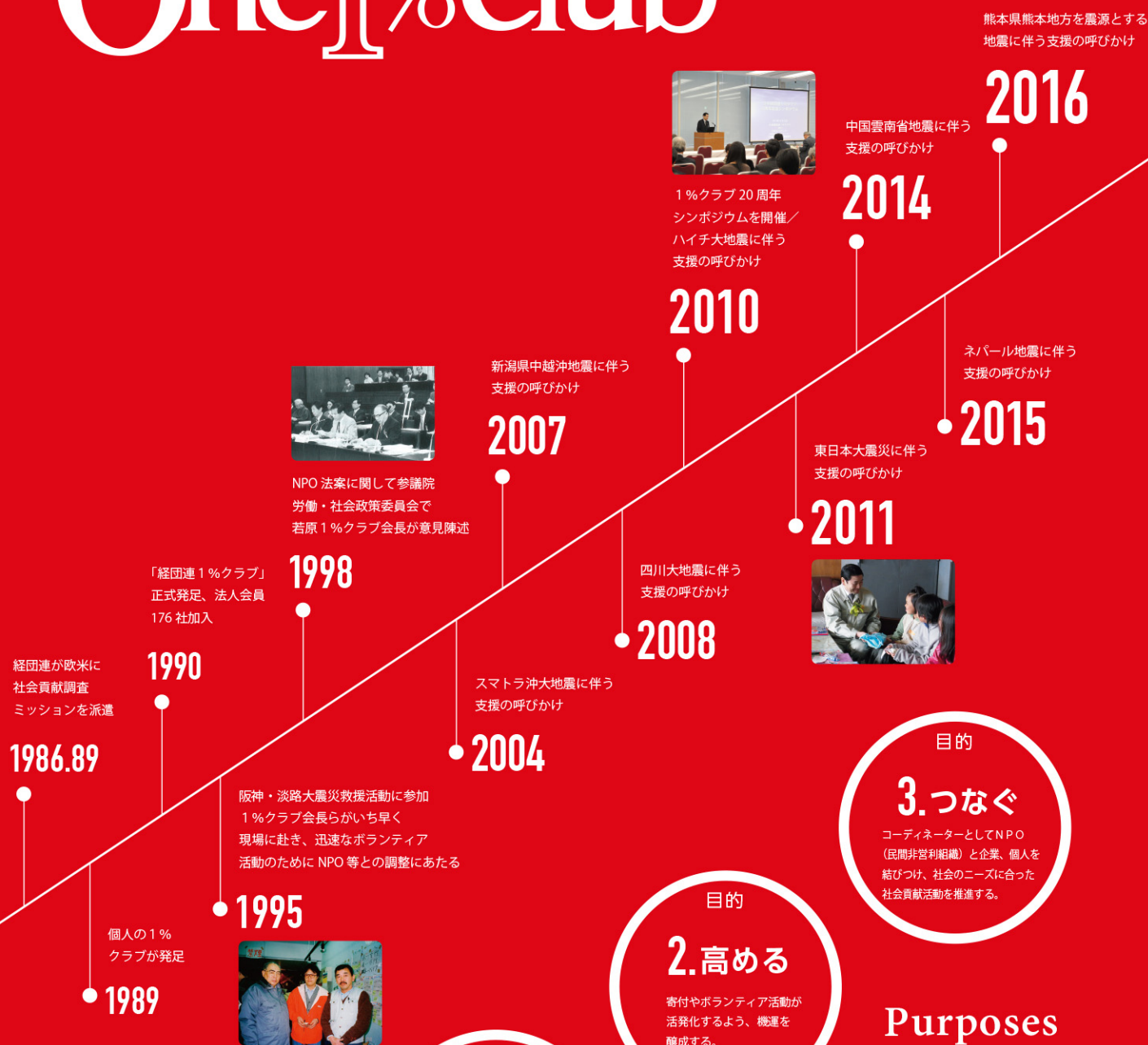
これらの活動を通じて1%クラブが追求するのは、経済的な利益だけでなく社会全体の利益です。

設立の経緯 History

1%クラブは、アメリカの1%クラブ・3%クラブ等、いわゆる「パーセントクラブ」に触発され、1990年に誕生しました。この「パーセントクラブ」とは、利益や所得の数%を社会貢献に活用しようとする組織のことです。

経団連は、1986年・89年の2回にわたって社会貢献活動調査ミッションを欧米に派遣し、海外の1%クラブ・3%クラブや大手企業等を訪問しました。そこで、企業には、経済的な利益だけでなく社会全体の利益を追求する重要な役割があることをあらためて認識したのです。

One1%club



目的

3. つなぐ

コーディネーターとしてNPO（民間非営利組織）と企業、個人を結びつけ、社会のニーズに合った社会貢献活動を推進する。

目的

2. 高める

寄付やボランティア活動が活発化するよう、機運を醸成する。

目的

1. 支える

社会貢献活動を行う企業と個人を支援する。

Purposes 活動の目的

現在、1%クラブの活動の目的は大きく3つに分けられます。

1%クラブによる取り組み

Efforts of 1%club



1

企業の社会貢献活動の調査

～ 過去を振り返る ～

社会貢献活動をより良いものにするためには、それまでの活動の状況を正確かつ客観的に把握する必要があります。そこで、当クラブでは、会員企業の社会貢献活動について1991年から毎年調査を実施し、その結果を公表しています。また、震災復興の取り組みについても調査し、事例集の作成も行っています。

支出調査

1%クラブの会員企業は、平均で経常利益の2～3%を社会貢献活動に活用してきました。そうした実態も含め、企業がどれだけの額をどのような社会貢献活動に使っているのかを、毎年調査しています。また、国内外で発生した主な災害についても災害毎に被災地支援実績調査を実施しています。

回答企業の社会貢献支出額



1,751

億円

* 2014 年度調査

1社平均

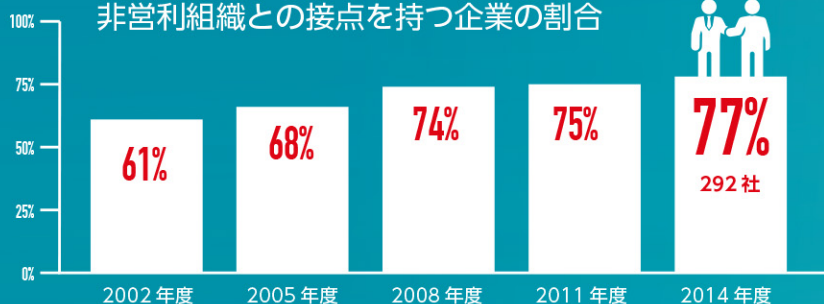
約5

億円

制度・意識調査 事例調査

1%クラブの会員企業は、非営利組織との連携や専門部署の設置等を積極的に実施しています。こうした情報を共有するため、企業がどのような意識を持ち、どのような取り組みを行っているのかを、定期的に調査しています。

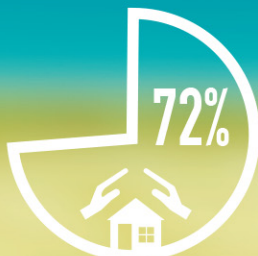
非営利組織との接点を持つ企業の割合



特別調査

「東日本大震災」や「熊本県熊本地方を震源とする地震」等をはじめ、国内外で発生した最近の大規模災害について、どのような復興支援を企業が行っているのかを調査しています。

2014 年度震災復興の取り組みの実施有無 [378 社のうち約 7 割]



社員のボランティア



企業マルシェの実施



企業による寄付



商品・サービスの提供



自主プログラム



社員食堂で被災地産地メニューの提供



社員による金銭・物品寄付



被災自治体・企業への社員の出向



寄付・救援物資・ボランティア等の呼びかけを通じた被災地支援

～ 今と向き合う・未来をつなぐ ～

企業等による社会貢献活動の実態を調査するだけでなく、会員への呼びかけを通じて被災地を支援することも、1%クラブの重要な役割です。非常時にはNPO等と連携し、義援金・支援金・救援物資拠出への協力を企業に幅広く呼びかけています。また、セミナーやボランティアプログラムを企画し、寄付・ボランティア等への人々の意識を高めることを目指しています。



東日本大震災以降、被災地における企業人ボランティアプログラムや、企業担当者等による被災地視察会を実施し、支援のあり方を検討しています。



東日本大震災・熊本県熊本地方を震源とする地震においては、企業等と協力しうるバック（企業等から集めた生活用品をバックにしたもの）の配布を行いました。



社会貢献・CSRに関する情報の発信

～ 今を伝える ～

社会や時代のニーズに合った社会貢献・CSR活動を呼びかけるためには、常にタイムリーな情報発信を行うことが重要です。特に近年では、事業活動を通じた社会的課題の解決も含め、社会貢献・CSRにおける様々な取り組みが進んでいます。

そのため1%クラブでは、セミナーやシンポジウムの開催等を通じ、企業の先進的な取り組み事例を紹介しています。また、「1%クラブニュース・インフォメーション」を毎月1回発行し、NPOからの協力・支援依頼や、企業が主催するイベントの案内を定期的にお知らせしています。

加えて、国内外で大規模な災害等が発生した場合には「1%クラブニュース増刊号」を発行し、救援活動に関する情報を提供しています。



One1%club

1% [ワンパーセント] クラブ

1%クラブの運営

1%クラブは、法人格のない任意団体として運営されています。
会長兼代表世話人を含む、企業経営者による世話人会からの
寄付で運営は成り立っています。

歴代会長兼代表世話人（就任時の役職）

豊田 章一郎 トヨタ自動車社長
(1991年4月～1994年5月)

池田 弘一 アサヒビール社長兼CEO
(2005年5月～2008年5月)

若原 泰之 朝日生命保険社長
(1994年5月～2000年5月)

佐藤 正敏 損害保険ジャパン社長
(2008年5月～2015年11月)

伊藤 助成 日本生命保険会長
(2000年5月～2005年5月)

二宮 雅也 損害保険ジャパン日本興亜会長
(2016年7月～)

お問い合わせ

1% [ワンパーセント] クラブ事務局

(一社) 日本経済団体連合会 政治・社会本部内

〒100-8188 東京都千代田区大手町 1-3-2

E-mail : 1p-club@keidanren.or.jp FAX : 03-6741-0352 TEL : 03-6741-0154

Keidanren
Policy & Action